

第22回 一般教育部セミナーの開催

「社会」とは何か？「社会人」とは誰か？

—「社会人」言説の歴史社会学序説—

日時：平成29年10月23日（月）

午後4時30分～午後5時30分

（45分の講演と15分の質疑応答）

場所：相模原キャンパス L1号館 4階 42講義室

演者：前田 崇（一般教育部人間科学教育センター）

社会学は「社会」を研究対象とする学問です。私たちにとって、「社会」はとても身近な存在です。例えば、日常的に「大学を卒業して社会に出る」とか、「大学の先生は社会経験がないから、〇〇だ」などという言説（言葉の束）を見聞きします。また、「健全な社会人」や「社会人基礎力」というように、教育目的や身につけるべき能力を示す際に「社会人」という言葉が用いられています。

しかし、改めて「社会とは何か？」と問われると、明確に答えるのは難しいのではないのでしょうか。また、『社会人』とは誰のことなのか？と改めて考えてみると、「社会人」という言葉が指し示す範囲はかなり曖昧です（この曖昧さに意味がありそうですが・・・）。

本セミナーでは、研究対象としての「社会」に関する社会学の考え方を紹介します。そして、社会学における「社会」と日常的に使用されている「社会」とは何が違うのかを考えます。さらに、これまでの研究成果と今後の研究計画を紹介しながら、日常的に使用されている「社会人」という言葉が誰を指し示しているのか、「社会人」言説はどのような文化的な働きをしているのか、こうした言説は社会の構造とどのように関連しているのかについて考えてみたいと思います。

主催：北里大学一般教育部研究委員会
共催：一般教育部人間科学教育センター
連絡先：一般教育部 研究委員長 大石
(t-ohishi@kitasato-u.ac.jp)